

主な入試変更点 選抜方法:文(コミュニケーション情報)<後>…廃止

共通テスト:医(看護)<前>…国<100>+歴公<100>+数2<100>+理2<100>+外<100>=総点<500>

→国<100>+歴公<50>+数 2<100>+理 2<100>+外<100>=総点<450>

個別試験:医(看護)<前>…国<100>+数<100>+外<100>=総点<300>→国<200>+数<200>+外<200>=総点<600>

募集人員:文(コミュニケーション情報)…〈前〉18 人→20 人、〈後〉3 人→0 人

医(医)…〈前>90 人→87 人

薬(薬)…<前>45 人→40 人

改組:教育(小学校教員養成)、(中学校教員養成/国語、社会、数学、理科、英語、音楽、美術、保健体育、技術、家庭)、(特別支援教育教員養成)、(養護教諭養成)→(学校教育教員養成/初等・中等教育、特別支援教育、養護教育)

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は35人(101)の微増で3年ぶりの増加。学部別では、医(医)(135)は前年度大幅減少の反動で大幅増加、一方で理(71)は前年度増加の反動で大幅減少、教育(87)は減少。後期は132人(88)の減少。学部別では、増加したのは工(122)のみで、後期募集の4学部ともに前年度と逆の増減。

〈前期日程〉

- ○文(102)は、2年連続減少の反動はなく前年度並。学科別では、(コミュニケーション情報)(170)は激増で3年ぶりの増加。 志願倍率も1.8倍→2.8倍にアップ。一方で、(文)(84)は前年度大幅増加の反動で大幅減少、(歴史)(89)は減少で2年連続減小
- ○法(104)は、やや増加で2年連続増加。
- ○教育(87)は、減少。2019 年度以降、前年度の反動による増減が継続。課程・専攻・コース別では、改組のため(学校教育教員養成/初等・中等教育—数学)(131)と旧(中学校教員養成/数学)の比較で、(学校教育教員養成/養護教員養成)(124)と旧(養護教諭養成)の比較でいずれも大幅増加で3年ぶりに増加。一方で、(学校教育教員養成/初等・中等教育—音楽、美術、保健体育、家庭、技術)(60)と旧(中学校教員養成/音楽、美術、保健体育、家庭、技術)の比較では大幅減少で3年連続減少、(学校教育教員養成/初等・中等教育—国語)(71)と旧(中学校教員養成/国語)、(学校教育教員養成/初等・中等教育—小学校)(80)と旧(小学校教員養成)の比較でいずれも大幅減少で、前年度の反動による増減が継続。
- ○理(71)は、大幅減少。2013年度以降、前年度の反動による増減が継続。
- ○**工(103)**は、やや増加だが、2018 年度の学科改組以前を含めると、2015 年度以降、前年度の反動による増減が継続。学科別では、(機械数理工)(126)、(材料・応用化学)(118)はいずれも大幅増加。一方で、(情報電気工)(82)は大幅減少で2年連続減少。
- ○医(医)(135)は、大幅増加で3年ぶりに増加。志願倍率は3.7倍→5.1倍にアップ。
- ○医(保健)(114)は、増加。専攻別では、(保健/看護)(148)は2年連続大幅減少の反動で大幅増加、(保健/検査技術科学)(114)は前年度大幅減少の反動で増加。一方で、(保健/放射線技術科学)(79)は大幅減少で6年ぶりに減少。



○薬(99)は、2年連続前年度並。学科別では、(創薬・生命薬科学)(110)は増加で2年連続増加。(薬)(95)はやや減少で3年連続減少。

〈後期日程〉

- ○文(84)は、(コミュニケーション情報)の後期廃止により大幅減少、後期募集を継続する3学科合計でも前年度大幅増加の反動で(89)の減少。学科別では、いずれも減少で、(歴史)(84)は大幅減少、(総合人間)(88)は減少、(文)(96)はやや減少。
- ○法(65)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。
- ○理(84)は、前年度増加の反動で大幅減少。
- ○エ (122)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。学科別では、(材料・応用化学) (185)は2年連続大幅減少の反動で大幅増加、(機械数理工) (131)は2年連続減少の反動で大幅増加、(情報電気工) (107)は前年度大幅減少の反動は小さくやや増加。一方で、(土木建築) (83)は大幅減少で3年連続減少、志願倍率も5.8倍→4.8倍にダウン。